

今年は新型コロナ・ウイルスの影響で、合同慰霊祭への参加も他府県から来られた方にはご遠慮いただく事態になり申し訳なく思っています。簡単に最近の教会の動きをご紹介します。

○納骨壇の設置 2019年8月23日

振り返れば1年前、とても暑い中、大阪から業者さんが来て下さり納骨壇が据付けられました。徳山教会の一大事業でした。建設に関わってくださった方、業者さんに改めて感謝しましょう。



○「福音を伝えるヒント集」2020年6月から毎月発行されています。黙想のヒントにしてください。(徳山教会のホームページでバックナンバーがご覧いただけます。A5 2枚)

○「一杯の愛のお米プロジェクト」ベトナム募金 2020年6月23日に贈呈

新型コロナ・ウイルスによって生活に大きな影響が出ている(仕事を失ったり給料が減らされている)ベトナムの若者たちへの募金が5月から1ヶ月間行われました。寛大なご寄付で403,000円が寄せられ、食料品の詰め合わせ、現金が送られました。



○護身術の練習 2020年7月28日から後回し蹴りの練習

大切な幼稚園の子どもたち・先生たちの命を守るための護身術。回し蹴りに続いて、後回し蹴りの練習に励んでいます。(毎週火曜日 19時から 桜木公民館にて)



○難民募金 2020年8月4日

2015年から教会・幼稚園で続けている難民募金。今年は、大事に育ててきたカブトムシの売り上げ5万円を難民支援協会さんに送金。近く、難民支援協会のホームページにも写真が掲載予定。



○広島原爆投下の平和の鐘 徳山空襲の動画・琴山素行さんの空襲体験 2020年8月6日

○熱血テレビ 戦後75年企画(2)「人間魚雷 回天」体験談 中山義文さん 2020年8月14日

○典礼部による共同祈願の作成 2020年8月15日

これまで柴田神父により作成されていた共同祈願が、聖母被昇天ミサより典礼部によって作成されることになりました。ご意向(教会と社会の必要について。弱くされている方への励ましなど)を考えつく方は、事前に典礼部にお知らせください。なお、1つの祈願につきおおよそ50字です。

コロナの影響で、東北ボランティアに行けなくなった時間に、戦争と平和について考えました。その中から皆さんに幾つかの映画・番組をご紹介します。コロナが落ち着いたら皆さんと鑑賞し、平和と核兵器について考える機会にしたいです。

EVT 特集 「焼き場に立つ少年を探して」 2020年8月8日 60分

フランシスコ教皇が「核兵器がもたらすもの」として死んだ幼子を背中に背負う兄の姿の写真を世界に広めました。写真の意味、戦争孤児の生活の厳しさを取り上げています。

『ひろしま』日教組プロ制作 1953年 104分 被爆者を含む88,000人によって原爆投下直後の惨状を再現しようとした試みた壮大な映画。残念ながら反米につながることを恐れた大手映画会社が上映を見送ったため、一般にはほとんど知られていない。



関川秀雄



『コルベ神父の生涯 アウシュビッツ 愛の奇跡』 女子パウロ会 1981年 95分

日本でも長崎で「聖母の騎士」の出版をし、最後はアウシュビッツの収容所で身代わりとなって獄死した聖人の物語。一部内容を紹介します。この夏、私たちが考えるべき内容が含まれています。

マキシミリアノ・マリア・コルベ神父の神学生に向けた講話

1936年、日本からポーランドに帰国したコルベ神父は、ニエボカラノ修道院の修道院長になる。それから3年、1939年に第二次世界大戦が勃発した。ナチス・ドイツのポーランド侵入以来、ナチス・ドイツの残虐行為はエスカレートしていった。ニエボカラノ修道院にも、その手が伸びようとしていた。

暗くなる世界を見越してコルベ神父は静かに修道院の700人のメンバーに語り始めた。

皆さん、近く非常な苦しみや誘惑に襲われ、絶望の淵に立たされるにあるに違いありません。しかし、その時、どうか、これから私が語る言葉を思い起こして欲しい。兄弟の皆さん、私たちにとっての真の発展とはなんですか？ キリスト者の発展は、目に見える財産にあるのではなく、私たちの魂にあるのです。 発展は精神的でなければ無きに等しい。学問も第2義的なものに過ぎません。従って、私たちの授業を停止しなければならない事態になったとしても、私たちの魂の中にまかれた種をしっかりと育てる心さえあれば、根強く生き続け、いつか、大きな実りをもたらすこと

でしょう。皆さん、私が日本にいるときのことでした。聖母マリアへの限らない愛の中で私は確信したことがあります。いずれ私は、聖母マリアのもとへ呼び寄せていただけるのだということ。私たちの働きは、聖母マリアへの取り次ぎによって、全て神のむ旨のままに進んでいく。だから、私は何一つ恐れてはいません。私は、私のすべてを神に捧げることを望んでいます。兄弟の皆さん、人々の平和が脅かされようとしています。しかし、いかなる状況になろうとも、主の望まれた平和を生き続けなければなりません。日々の平和は、あなた方の心の中にこそ育まれるのです。そのためにこそ、自らを捧げるのです。たとえ、絶望の淵に立たされようとも、神への愛と地上の平和を求めて、全身全霊で捧げ切る覚悟をお持ちなさい。そして、そのことこそが私たちにとって、最上の喜びなのです。

コルベ神父の死の知らせは、クラコフで生きていた母にも届きます。

ライモンド（コルベ神父の子供の時の名前）、あなたはいま私に最上の知らせを届けてくれましたね。これは、あなたがずっと望んでいたことなのです。お母さんにも悲しみであるはずはありません。ありがとうライモンド。私は今、あなたが小さかったときのことを思い出しています。あなたは覚えているでしょう。あなたがある日目覚めて、話してくれたことを。お前はこう言いましたね。「僕は今朝、マリア様の夢をはっきり見たんだ。」そう言って大喜びで起き出してきたときの事です。あなたは、聖母マリアが、両手に白い冠と赤い冠を持っており、白い冠は純潔の印であり、赤い冠は殉教者になるための印である、と語った上で「どちらが欲しいのか？」と尋ねられた、というのでしたね。そしたら小さいあなたは、「両方欲しい」とすぐに答えた、という。その時から、私はあなたのために祈り続けてきたのです。「聖母マリア様、どうか私の息子の約束を叶えてくださいますように。」 ああ、あなたの願いがこうして果たせたなんて。母さんは今、あなたのためにととても喜んでます。ねえライモンド。いえ、マキシミリアノ・マリア・コルベ神父、共に神様にお捧げしてきたんですよ。この知らせが、私に届いてだけでも私は嬉しくて、嬉しくて……。あなたは、憎しみの最中に命を賭けて愛をもたらし、平和の道具になったのです。主よ、感謝申し上げます。

行事予定

2020年8月30日(日) ミサ後、財務委員会

ご協力をお願い

今年は、新型コロナ・ウイルスの影響で公開ミサが2ヶ月できなくなり、教会の財務事情が例年より悪くなっています。教会維持費の増額、ミサ献金の増額をどうかよろしくお願いします。

9月13日(日) ミサは敬老感謝の意向で捧げられますが、写真撮影・茶話会はありません。

10月31日(土) もしくは11月7日(土) 徳山教会引き受けの岩徳協働体連絡会。今年は各小教区の代表者等、人数を制限して行います。

11月22日(日) ミサ後 社会教説勉強会 中井淳神父(労働教育センター所長)

11月29日(日) 待降節第1主日 黙想会 柴田神父指導

12月24日(木) 主の降誕 夜半のミサ 19:00~

12月25日(金) 主の降誕 日中のミサ 10:00~

2021年1月1日(金) 神の母聖マリア 11:00~